

【姫島村】

校務DX計画

本村における校務DX計画については、文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検等を踏まえ、次のとおり取り組みます。

1. 校務DXの推進について

校務DXの推進に向けて、教職員のICTの知識の向上や授業支援のために各学校に配置しているICT支援員の活用、学校と保護者双方の負担軽減を目的に、文書配付やアンケートへの回答にクラウドサービスを活用し、ペーパーレス化や集計等の自動化を図り、教職員の事務作業の負担軽減、働き方改革等につなげます。教職員の研修・会議についてはタブレットや大型提示装置を利用して行い、ペーパーレス化を促進していく。

2. 校務系・学習系ネットワークの統合

本村では、校務系で作成したデータを教育用端末で使用する際に煩雑な手順を踏む必要があるため、校務の効率化及び教育データの利活用を推進していくためには、ゼロトラストの考え方にに基づきアクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じた上で、校務系・学習系ネットワークの統合に向けて調査研究していく。

3. FAX・押印の廃止について

FAXと押印の見直しは、ペーパーレス化、校務の効率化のための重要な要素であるため、メールやクラウドサービスの活用を進め、慣行の見直しを行います。

4. 次世代校務支援システムの導入について

本村では、県下統一の総合型校務支援システムを導入することで、市町村間での人事異動に伴う負担軽減を図っています。名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に努め、学校業務の支援を強化することで事務作業の効率化を図ります。また、「校務支援システム連絡協議会」等を通して課題を確認し、必要な機能を満たした校務支援システムの導入に向けて取り組みます。

5. 生成AIの活用について

令和5年7月4日に文部科学省が示した「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を受け、本村においても活用に向けて取り組みます。